

注3

大学番号：私502

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 加計学園

平成23年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名			
職名・氏名	シヨムフ 庶務部	トウトク 藤得	ヒロタカ 博貴
	シヨムカ 庶務課	チカ 親	タカシ 崇
電話番号	086-440-1014		
（夜間）	086-440-1014		
F A X	086-440-1015		
e-mail	t-chika@hq.kusa.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	P.1～P.4
2. 授業科目の概要	P.5～P.9
3. 施設・設備の整備状況, 経費	P.10～P.11
4. 既設大学等の状況	P.12～P.15
5. 教員組織の状況	P.16～P.23
6. 留意事項に対する履行状況等	P.24
7. その他全般的事項	P.25～P.27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

倉敷芸術科学大学

(3) 大学の位置

〒712-8505
岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (H13年1月)		
学長	(ソエダ タカシ) 添田 喬 (H17年4月)		
産業科学技術 学部長	(ナカシマ ミチオ) 中島 道夫 (H23年4月)		
経営情報 学科主任	(ゴトウ ユタカ) 後藤 裕 (H23年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
産業科学技術学部 経営情報学科 学士(産業科学技術)	4年	60人	年次 人	240人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	0.71倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	63 (-) [43]	(-) [-]		
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	60 (-) [42]	(-) [-]		
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	55 (-) [37]	(-) [-]		
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	43 (-) [31]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							0.71			

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[31] 43	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
4年次	/				[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[31] 43	[-] -	[-] -

(注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年月前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下
 - ・学力不足
 - ・他の教育機関への入学・転学
 - ・海外留学
 - ・就職
 - ・学生個人の心身に関する事情
 - ・家庭の事情
 - ・除籍
 - ・その他

2 授業科目の概要

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
文化	哲学	1・2・3・4		2							兼1
	文学	1・2・3・4		2							兼1
	歴史学	1・2・3・4		2							兼2
	日本語表現	1・2・3・4		2							兼1
	宗教学	1・2・3・4		2							兼1
	社会と言語	1・2・3・4		2							兼1
	心理学	1・2・3・4		2							兼1
社会	政治学	1・2・3・4		2							兼1
	環境と社会	1・2・3・4		2		1					
	日本国憲法	1・2・3・4		2							兼1
	法学	1・2・3・4		2		1					
	経済学	1・2・3・4		2		1					
自然	物理学	1・2・3・4		2							兼2
	化学	1・2・3・4		2							兼1
	人間と環境	1・2・3・4		2							兼1
	地球科学	1・2・3・4		2							兼2
	数学	1・2・3・4		2		2					
教養科目	世界と日本	1・2・3・4		2							兼1
	アジアの政治文化	1・2・3・4		2							兼1
	マスコミ論	1・2・3・4		2							兼1
	文章表現法	1・2・3・4		2							兼1
	人間の発達と形成	1・2・3・4		2							兼1
	日本の伝統芸能	1・2・3・4		2							兼1
	芸術と科学の協調	2後 1後		2							兼3 教育効果を考慮し配当年次を変更(23) 担当者変更(23) 担当 加藤敬史(兼任)
	人生と仕事Ⅰ	1		2							兼1
	人生と仕事Ⅱ	2		2							兼1
	キャリア・ラーニング	3前		2		1 2					兼4 兼3 担当者追加(23) 担当 岡野喜良(教授)、時任英人(兼任)、大野英志(兼任)、津野熊総一郎(兼任)
	キャリア・チャレンジⅠ	2前		1		1					
	キャリア・チャレンジⅡ	2後		1		1					
	基本数学	1		2							兼1
	基本英語	1		2							兼1
基本化学	1		2							兼1	
基本物理	1		2							兼1	
倉敷まちづくり基礎論	1後		2		1					兼1	
倉敷まちづくり実践論	1後		2		1					兼1	
まちづくりインターンシップ	2前		2		1					兼2 担当者変更及び追加(23) 担当 小出肇(兼任)、神田鉄平(兼任)	
動物入門(生き物を科学する)	1後		2							兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(23) 担当 古川敏紀(兼任)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語 教養科目	英語Ⅰ	1前	2			1					兼4
	英語Ⅱ	1後	2			1					兼4
	中国語Ⅰ	1前		2							兼1
	中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	英会話Ⅰ	1前		2		1					兼1 兼2 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼任)
	英会話Ⅱ	1後		2		1					兼2 兼1 担当者調整(23)
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語Ⅰ	1前	2								兼2
	日本語Ⅱ	1後	2								兼2
	日本語会話Ⅰ	1前	2								兼2
	日本語会話Ⅱ	1後	2								兼2
	日本語理解Ⅰ	1前	2								兼2
	日本語理解Ⅱ	1後	2								兼2
	保健 体育	保健体育概論	1		2						
保健体育実技Ⅰ		1前		2							兼4
保健体育実技Ⅱ		1後		2							兼4
専攻科目 共通科目	経営学概論	1前	2			1					
	簿記論	1後	2				1				
	簿記論演習	2前		2			1				
	経済学原論Ⅰ(マクロ)	2前	2			1					
	経済学原論Ⅱ(ミクロ)	2後		2		1					
	民法総論	1前	2			1					
	商法総論	1後	2			1					
	政治学史	3前		2							兼1
	国際政治学	3後		2							兼1
	海外事情Ⅰ(アジア1)	1後		2							兼1
	海外事情Ⅱ(アジア2)	2前		2							兼1
	海外事情Ⅲ(ヨーロッパ)	2後		2							兼1
	海外事情Ⅳ(アメリカ)	3前		2							兼1
	ビジネスと宗教	2後		2							兼1
	西洋思想概論	1後		2							兼1
東洋思想概論	2前		2							兼1	
岡山ビジネス研究	2後		2		1					兼1	
コンピュータリテラシ	1前	2			1						
コンピュータ基礎	1前		2		1						
情報システム基礎	1後	2			1						
情報ネットワーク概論	1後		2		1						
情報社会とモラル	2前		2		1						
情報と職業	2後		2		1						
知的財産権	3後		2							兼1	
入門統計学	2前		2		1						
統計解析の基礎	2後		2		1						
専攻科目 企業経営コース	企業経営論	3前		2		1					
	会社法	2前		2		1					
	人事経営論	3後		2		1					
	経営と倫理	2前		2		1					
	経営戦略論	2前		2		1					兼1
	アジアビジネス経営論	1後		2		1					
	金融論	2前		2		1					
経営資金調達論	2後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	企業経営コース	地域金融産業論	2前	2							兼1	
	投資銀行実務入門	3前	2		1							
	金融実務論	3前	2		1							
	金融実務特論	3前	2		1							
	証券外務員論	3前	2		1							
	情報システムコース	プログラミング基礎	1後	2		1						
		アルゴリズム	2前	2		1						
		経営情報学実験Ⅰ	2後	1		1						
		経営情報学実験Ⅱ	3前	1		1						
		経営情報学実験Ⅲ	3後	1		1						
		コンピュータグラフィックス実習	2前	1		1						
		情報デザイン概論	2後	2								兼1
		ユニバーサルデザイン論	3前	2								兼1
		認知科学概論	3前	2								兼1
		データベース	2後	2		1						
	情報ネットワーク	2前	2		1							
	情報セキュリティ	2後	2		1							
	MBA取得留学コース	MBAアカウンティング入門	2前	2			1					
		MBAリーダーシップ入門	3前	2		1						
MBAマーケティング入門		3前	2		1							
MBAファイナンス入門		2前	2			1						
ビジネス法Ⅰ		3前	2		1							
ビジネス法Ⅱ(国際法を含む)		3後	2		1							
社会調査概論		2前	2		1							
調査と計画		2後	2		1							
社会調査実習		3後	2		1							
データ解析		3前	2		1							
ビジネス英語	2後	2								兼1		
MBA英語特論Ⅰ	4前	8		1								
MBA英語特論Ⅱ	4後	8		1								
関連科目	実践日本語	1前	2								兼1	
	ビジネス日本語	2前	2								兼1	
	日本語演習Ⅰ	1前	2								兼1	
	日本語演習Ⅱ	1後	2								兼1	
	観光社会学	2後	2								兼1	
	芸術文化論	2前	2								兼1	
	日本美術史	1後	2								兼1	
	西洋美術史Ⅰ	2前	2								兼1	
	西洋美術史Ⅱ	2後	2								兼1	
	日本近代美術史	3前	2								兼1	
文化財学概論	3後	2								兼1		
デザイン史	3前	2								兼1		
	インターンシップ	1後	8		1							
	インターンシップ概論	1後	4		1							
	プロジェクト実習Ⅰ	2後	1		3							
	プロジェクト実習Ⅱ	3後	1		3							
	プロジェクト実習Ⅲ	4後	1		3							
	ITパスポート特論	1・2・3・4	2		5							
	基本情報技術者特論	1・2・3・4	2		5							
	ITスペシャリスト特論	1・2・3・4	2		5							
	ゼミナールⅠ	1通	4		18	1						
	ゼミナールⅡ	2通	4		17	1						
	ゼミナールⅢ	3通	4		16	1						
卒業研究	4通	8		12	1							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 19	科目 122	科目	科目 141	科目 19	科目 123	科目	科目 142	
				[]	[+1]	[]	[+1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	133,308.98㎡	㎡	㎡	133,308.98㎡			
	運 動 場 用 地	85,876.00㎡	㎡	㎡	85,876.00㎡			
	小 計	219,184.98㎡	㎡	㎡	219,184.98㎡			
	そ の 他	28,483.00㎡	㎡	㎡	28,483.00㎡			
	合 計	247,667.98㎡	㎡	㎡	247,667.98㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	44,259.54㎡ (44,259.54㎡)		㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	44,259.54㎡ (44,259.54㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体(22) 当該学科所屬(23)		
	-3-2室 0	-2-8室 12	9-3室 6	-1-0室 0 (補助職員 0人)	-1-0室 0 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	産業科学技術学部 経営情報学科			19 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	追加購入及び管理変更 のため(23)
	経営情報学科	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733])	88 [33] (88 [33]) (90 [33])	8 [8] (8 [8])	157 (157) (181)	8,282 (8,282) (5,976)	0 (0)	
	計	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733])	88 [33] (88 [33]) (90 [33])	8 [8] (8 [8])	157 (157) (181)	8,282 (8,282) (5,976)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	㎡							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	㎡							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当り研究費等	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	図書購入費	800千円	200千円	400千円
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	2,800千円	700千円	1,400千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,298千円	1,078千円	1,078千円	1,078千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金 等						

(注)・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		倉敷芸術科学大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収定員	学位又は称号	定員超過率	開年	設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍			
(芸術学部)									岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地
美術学科	4	—	—	—	学士(芸術)		平成7年度		
工芸・デザイン学科	4	—	—	—	学士(芸術)		平成7年度		
美術工芸学科	4	35	—	160	学士(芸術)	0.84	平成20年度		
メディア映像学科	4	30	—	120	学士(芸術)	1.14	平成14年度		
デザイン学科	4	35	—	130	学士(芸術)	1.17	平成20年度		
芸術学部 計	4	100	—	410	学士(芸術)	1.04	—		
(産業科学技術学部)									
IT科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)		平成7年度		
起業経営学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)		平成16年度		
観光学科	4	45	—	175	学士(産業科学技術)	1.10	平成20年度		
経営情報学科	4	60	—	60	学士(産業科学技術)	0.75	平成23年度		
産業科学技術学部 計	4	105	—	235	学士(産業科学技術)	0.92	—		
(生命科学部)									
生命科学科	4	45	—	175	学士(生命科学)	1.17	平成16年度		
健康科学科	4	55	—	235	学士(健康科学)	1.06	平成16年度		
			3年次						
生命動物科学科	4	65	8	271	学士(生命科学)	1.16	平成18年度		
生命医科学科	4	45	—	175	学士(生命科学)	1.22	平成20年度		
健康医療学科	4	30	—	30	学士(健康科学)	0.63	平成23年度		
			3年次						
生命科学部 計	4	240	8	886	学士(生命科学) 学士(健康科学)	1.16	—		
学部(通信教育課程)									
(産業科学技術学部)			2年次						
IT科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)		平成16年度		
			3年次						

平成17年度より芸術学部工芸・デザイン学科より10名を生命科学部健康科学科へ振替。
産業科学技術学部(通信教育課程)を募集停止。起業学科(通信教育課程)を募集停止。
平成18年度より産業科学技術学部コンピュータ情報学科より30名、生命科学科より10名を振替。
生命科学部に生命動物科学科を設置し、健康科学科10名増。

平成19年度より芸術学部工芸・デザイン学科より10名、起業学科より10名を生命動物科学科に振替。
平成20年度より芸術学部美術学科、工芸・デザイン学科を募集停止し、芸術学部に美術工芸学科、デザイン学科を設置。
産業科学技術学部に観光学科を設置。コンピュータ情報学科は、IT科学科に名称変更。
起業学科は、起業経営学科に名称変更。
生命科学部に生命医科学科を設置。生命科学科より、10名を観光学科に振替。
生命動物科学科編入学3年次8名増。

										平成21年度より芸術学部美術工芸学科より5名を生命動物科学科へ振替。芸術学部デザイン学科より5名を生命医科学科へ振替。 産業科学技術学部IT科学科より5名を生命科学科へ振替。産業科学技術学部IT科学科より5名を観光学科へ振替。 産業科学技術学部コンピュータ情報学科(通信教育課程)は、IT科学科(通 平成23年度より産業科学技術学部IT科学科、起業経営学科を募集停止し、産業科学技術学部に経営情報学科を設置。 生命科学部健康科学科より5名を振替、25名純増し健康医療学科を設置。
大学の名称	岡山理科大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員定員	編入学員定員	収容員定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			岡山県岡山市 北区理大町 1番1号	
理学部										
応用数学科	4	95	—	350	学士(理学)	1.28	昭和39年度			
化学科	4	70	—	295	学士(理学)	0.87	昭和39年度			
应用物理学科	4		—		学士(理学)		昭和41年度			
物理科学専攻	4	30	—	120	学士(理学)	0.84	平成14年度			
医用科学専攻	4	40	—	160	学士(理学)		平成14年度			
基礎理学科	4	75	—	300	学士(理学)	0.99	昭和50年度			
生物化学科	4	85	—	340	学士(理学)	1.24	昭和63年度			
臨床生命科学科	4	85	—	340	学士(理学)	1.16	平成16年度			
動物学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.28	平成20年度			
理学部 計	4	520	—	2065	学士(理学)	1.09	—			
工学部										
バイオ・応用化学科	4	75	—	300	学士(工学)	1.12	昭和61年度			
機械システム工学科	4	85	—	340	学士(工学)	0.96	昭和61年度			
										・名称変更 平成18年度より応用化学科応用化学専攻、生物・環境化学専攻→バイオ・応用化学科 平成18年度より総合情報学部コンピュータシミュレーション学科は募集停止し、在学生の卒業を待って廃止。入学定員40名は建築学科に転替 平成20年度より理学部動物学科を設置。

電気電子システム学科	4	70	—	280	学士(工学)	0.88	昭和61年度	
情報工学科	4	85	—	340	学士(工学)	1.04	平成4年度	
知能機械工学科	4	55	—	235	学士(工学)	0.72	平成17年度	
生体医工学科	4	60	—	240	学士(工学)	0.76	平成19年度	
			3年次					
建築学科	4	70	5	70	学士(工学)		平成23年度	
工学部 計	4	435	—	1755	学士(工学)	0.91	—	
総合情報学部								
情報科学科	4	80	—	320	学士(総合情報学)	0.94	平成9年度	
コンピュータシミュレーション学科	4	—	—	—	学士(総合情報学)	—	平成9年度	
生物地球システム学科	4	70	—	280	学士(総合情報学)	0.97	平成9年度	
社会情報学科	4	80	—	290			平成9年度	
地域人間情報専攻	4	—	—	—	学士(総合情報学)	1.25	平成15年度	
情報社会システム専攻	4	—	—	—			平成15年度	
			3年次					
建築学科	4	—	—	—	学士(総合情報学)	0.65	平成19年度	
			3年次					
総合情報学部 計	4	300	10	1150	学士(総合情報学)	0.95	—	

平成19年度より工学部生体医工学科、総合情報学部建築学科を設置
・名称変更
工学部電子工学科→電気・電子システム学科

総合情報学部社会情報学科地域人間情報専攻情報社会システム専攻を廃止。
平成23年度より総合情報学部建築学科を募集停止し、工学部建築学科を設置

大学の名称	千葉科学大学							備考
-------	--------	--	--	--	--	--	--	----

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
(薬学部)	年	人	年次	人		倍		千葉県銚子市潮見町3番地	
薬学科	6	120	10	915	学士(薬学)	0.85	平成18年度		平成18年度より薬学部薬学科を6年制課程へ移行し、薬学部薬科学科を設置。
薬科学科	4	—	—	—	学士(薬科学)	—	平成18年度		
動物生命薬科学科	4	—	—	—	学士(動物生命薬科学)	—	平成20年度		平成20年度より薬学部動物生命薬科学科を設置。
生命薬科学科	4	50	—	100	学士(生命薬科学)	0.56	平成22年度		平成21年度より危機管理学部防災システム学科及び環境安全システム学科を募集停止し、動物・環境システム学科、医療危
薬学部 計	4,6	170	10	1015		※			※ 薬学部の平均充足率は経過年数が薬学科が6年、生命薬科学科が2年であり、平均値に偏りが出るため未記載。
(危機管理学部)			3年次						
防災システム学科	4	—	—	—	学士(危機管理)	—	平成16年度		
			3年次						
環境安全システム学科	4	—	—	—	学士(危機管理)	—	平成16年度		

危機管理システム学科	4	100	3年次 5	375	学士(危機管理)	1.09	平成16年度	平成22年度より薬学部薬科学科及び動物生命薬科学科を募集停止し、薬学部生命薬科学科、危機管理学部航空・輸送安全学科を設置。
動物・環境システム学科	4	60	3年次 5	185	学士(危機管理)	0.77	平成21年度	
医療危機管理学科	4	80	3年次 5	265	学士(危機管理)	1.02	平成21年度	
航空・輸送安全学科	4	40	3年次 5	80	学士(危機管理)	0.45	平成22年度	
危機管理学部 計	4	280	3年次 30	905	学士(危機管理)	0.91	—	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	藤原 敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナール I	専任	教授	藤原 敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナール I		
専任	教授	尾高 好政 (67)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III	専任	教授	尾高 好政 (67)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III		
専任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究		
専任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究		
専	教授	小川 聡 (63)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験 I コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専	教授	小川 聡 (63)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験 I コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究		
専任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジ I キャリア・チャレンジ II 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習 I プロジェクト実習 II プロジェクト実習 III ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジ I キャリア・チャレンジ II 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習 I プロジェクト実習 II プロジェクト実習 III ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究		
	兼任	教授	小出 肇 (56)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	兼任	教授	小出 肇 (56)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
	兼任	准教授	神田 鉄平 (31)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	兼任	准教授	神田 鉄平 (31)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	中川 重和 (47)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	中川 重和 (47)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	Pradhan Sujeet (46)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ データベース ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	Pradhan Sujeet (46)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ データベース ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	小林 和真 (45)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	小林 和真 (45)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	足立 邦夫 (69)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	専任	教授	足立 邦夫 (69)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	檀木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	檀木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	
専任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	
専任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	
専任	教授	後藤 裕 (65)	平成23年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	後藤 裕 (65)	平成23年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	岡野 喜良 (63)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	岡野 喜良 (63)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ (国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ (国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	渡谷 真吾 (47)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	渡谷 真吾 (47)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	准教授	八角 憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウン ティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	准教授	八角 憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウン ティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
兼担	教授	森田 亜紀 (56)	平成23年4月	芸術文化論	兼担	教授	森田 亜紀 (56)	平成23年4月	芸術文化論	
兼担	教授	平野 重光 (71)	平成23年4月	日本美術史	兼担	教授	平野 重光 (71)	平成20年4月	日本美術史	平野教授退職のため平成23 年度より担当者の変更(23)
					兼担	教授	神原 正明 (59)	平成20年4月	日本美術史	
兼担	教授	神原 正明 (59)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ	兼担	教授	神原 正明 (59)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ 日本美術史	担当科目追加(23)
兼担	教授	松岡 智子 (51)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	兼担	教授	松岡 智子 (51)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	
兼担	教授	山岸 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	兼担	教授	山岸 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	
兼担	教授	近藤 研二 (58)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史	兼担	教授	近藤 研二 (58)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史	
兼担	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論	兼担	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論	
兼担	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼担	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	
兼担	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	兼担	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	
兼担	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学	兼担	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学	
兼担	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論	兼担	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論	
兼担	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論	兼担	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	
兼任	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語	兼任	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語	
兼任	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	兼任	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	
兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	佐藤—恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	担当教員追加(23)
					兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	芸術と科学の協調	
兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学	兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学	
兼任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境	兼任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境	
兼任	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	兼任	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	
兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	
兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	
兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論	
兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	
兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	
兼任	准教授	柳田 宏治 (51)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論	兼任	准教授	柳田 宏治 (51)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論	
兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	
兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語	兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語	担当者調整のため(23)
兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学	兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学 芸術と科学の協調	担当科目追加(23)
兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論	
兼任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	体調不良のため(23)
					兼任	講師	高原 皓全 (28)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ	担当科目調整のため(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	芦田 雅子 (51)	平成23年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 海外事情Ⅲ 海外事情Ⅳ	兼任	講師	芦田 雅子 (51)	平成23年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 海外事情Ⅲ 海外事情Ⅳ	
兼任	講師	枝松 千尋 (37)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	枝松 千尋 (37)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	
兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	助教	藤塚—千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	退職のため(23) 担当者複数のため支障なし
兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ キャリア・ラーニング	担当科目追加(23)
兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	
兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	
兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	
兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	
兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	
兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	
兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	
兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	
兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	
兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ 実践日本語	担当科目追加(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	禹 暁瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	兼任	講師	禹 暁瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	
兼任	講師	甲元 孝朋 (70)	平成23年4月	地域金融産業論	兼任	講師	甲元 孝朋 (70)	平成23年4月	地域金融産業論	
兼任	講師	田路 慧 (73)	平成23年4月	西洋思想概論	兼任	講師	田路 慧 (73)	平成23年4月	西洋思想概論	
兼任	講師	平野 聖 (57)	平成23年4月	知的財産権	兼任	講師	平野 聖 (57)	平成23年4月	知的財産権	
兼任	講師	支 洪濤 (45)	平成23年4月	実践日本語	兼任	講師	支—洪濤 (45)	平成23年4月	実践日本語	担当者変更(23)
					兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	実践日本語	
兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	
兼任	講師	森 喬 (71)	平成23年4月	観光社会学	兼任	講師	森 喬 (71)	平成23年4月	観光社会学	
					兼任	教授	古川 敏紀 (62)	平成23年4月	動物入門(生き物を科学する)	担当科目追加(23)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
12	1	0	0	13	0	18	1	0	0	19	0	
(18)	(1)	(0)	(0)	(19)	(0)	[+6]	[]	[]	[]	[+6]	[]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

7 その他全般的事項

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

倉敷芸術科学大学教育研究推進委員会規程（添付）

（平成22年4月より委員会名称を倉敷芸術科学大学教育研究委員会から上記名称へ変更）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成22年度

第1回教育研究推進委員会	平成22年	5月12日（水）	参加18名
第2回教育研究推進委員会	平成22年	5月26日（水）	参加20名
第3回教育研究推進委員会	平成22年	7月7日（水）	参加15名
第4回教育研究推進委員会	平成22年	7月28日（水）	参加12名
第5回教育研究推進委員会	平成22年	8月25日（水）	参加18名
第6回教育研究推進委員会	平成22年	9月22日（水）	参加17名
第7回教育研究推進委員会	平成22年	12月1日（水）	参加14名
第8回教育研究推進委員会	平成23年	1月26日（水）	参加12名
第9回教育研究推進委員会	平成23年	3月3日（木）	参加14名

c 委員会の審議事項等

主な議題：委員会構成員について

委員長・副委員長選出について

活動の目標設定について

認証評価について

芸術の科学の共同研究について

就業力育成支援の活動について

授業アンケートについて

授業公開について

学生満足度アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 授業公開
- ・ FD講演会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート・・・前期後期定期試験前原則として全授業科目を対象として実施
- ・ 授業公開・・・・・・授業アンケートにおいて、高評価の教員を公開授業の対象とし、後期に1週間実施
- ・ FD講演会・・・・・・年間3回程度、外部講師や学内の教員による講演会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート・・・全教員を対象に前期、後期各1回実施
- ・ 授業公開・・・・・・後期に1週間各学科1名程度の教員を対象に実施するが、聴講希望者は数名にとどまる
- ・ FD講演会・・・・・・年間3回程度実施している。40～50名程度の教職員が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）について、全学的に行っている活動における授業改善への方法は、次のように行われている。まず授業アンケートでは、各項目の各人の評価点数（5段階評価）と学部全体の評価点を比較できるようフィードバックし、全体における評価に対し、各人が担当する科目の評価点数を比較することで、改善の余地がある項目について確認できる仕組みとなっている。これにより、この担当教員が改善を行うこととしている。また、アンケートには自由記述欄を設けており、学生からの具体的な指摘を受けた内容について、必要に応じて改善を加えている。また、問題点が大きい場合は、当該学部長を交え改善について注意を促すこととしている。

アンケート内容や実施方法については、教育研究推進委員会にて現状確認を行い、改善の必要があれば議論し改善を行っている。

授業公開、FD講演会では、参加した教員がそれぞれの着眼点で授業改善に有効となる発想を見つけ改善に取り組んでいる。

また、学科においても体系的なカリキュラムを構築し、学科で必須の分野に関する科目のリメディアル教育を充実させ、ITやメディア教材を活用し学生の理解度を上げる工夫を行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営情報学科の趣旨・目的の達成状況については、4年間の学士課程教育を終えた時点での評価を待たざるを得ないが、趣旨・目的を達成させるために教育研究活動や管理運営組織等を点検評価する体制を整えている。具体的には、本学では当該年度の活動を点検評価した結果をまとめたFD活動年次報告書を刊行している。観光学科でも、各年度の活動を、財団法人大学基準協会の定めた大学基準（評価項目）に沿って、例えば「1.理念・目的」では、PDCAサイクルに基づいて、「目標」、「現状」、「点検・評価」、「改善・改革方策」の順に確認して、その結果を上記の報告書に記載することとしている。

このような点検評価体制により、経営情報学科の趣旨・目的の達成に向けて、今後も引き続き設置計画を確実に履行するとともに、学士課程教育にふさわしい教育研究水準の維持・向上に努める所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・原則として毎年公開

b 公表方法

- ・報告書を作成し、近隣大学等に配布

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成23年4月大学基準に適合していると認定された。（認定期間：H23.4.1～H30.3.31）

認定期間が終了する前に、評価期間の評価を受ける予定である。

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表予定時期

（ 平成23年度内公開予定 ）

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク

（ 承諾する ・ 承諾しない ）

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

（<http://www.> ）

（注）・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先（〇〇大学）」としてください。